京都グリーンケミカル・ネットワーク　参画企業

株式会社大興製作所

石英ガラスの切削・火炎加工・研磨で顧客の技術的課題を解決

コア技術と事業概要

精密配管などの一点ものから半導体製造機械用の光学部品まで

主に半導体、分析、光学部品分野に向けて、石英ガラス材料・部品の製造販売を手掛けています。切削・火炎加工・研磨の技術に強みを持ち、精密形状加工が得意なことから、最新鋭工場や研究機関の配管設備のオーダーメイド製作を行なっています。

また、新潟の生産拠点にある大型マシニング装置により、半導体製造用の光学部品を製作するなど、ガラス・石英材料の加工を一貫して手がけています。

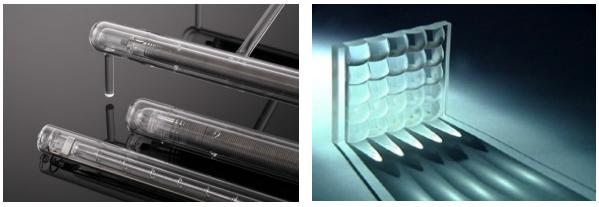

図1 理化学実験で使用される特殊なヒーター付きのガラス配管(左)
図2 半導体露光装置などに使用されるフライアイレンズ(右)

注目の新技術・新展開

光学設計を強化し、独自製品の開発へ

受注生産が中心だったこれまでに対し、近年、光学設計部門の強化を進め、培った加工技術や石英材料のノウハウを生かした独自製品の開発製造を行っています。

その一つがビームホモジナイザーで、レーザー光原の照射スポットを2mmから20mm程度まで均一なまま拡大することのできる光学モジュールです。例えば、バイオ実験で蛍光観察する際に、均一に一定の面積を露光することができ、照射スポットのムラに影響を受けていた従来の計測とくらべ、より精度の高い観察が可能となっています。

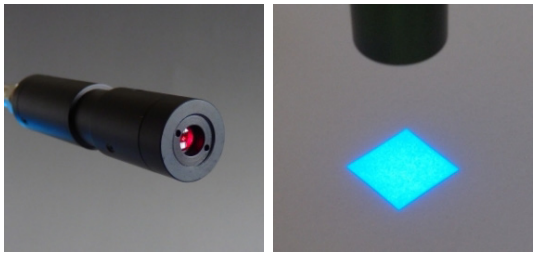

図3 独自開発したビームホモジナイザー
レーザー光源の照射スポットの拡大・均一化を行えるビームホモジナイザー外観(左)。20mmまで照射スポットを拡大した様子(右)。

企業情報

DAICO MFG CO., LTD.

1952年に理化学機器の製造販売を主要事業として創業。その後、1980年代の国内半導体産業の成長に伴い、半導体工場新設などの設備需要に合わせて会社の規模が拡大。1984年新潟に半導体向けの製造工場設立。北陸の製造拠点で大型の生産施設を保有し、京都の本社では特殊部品の設計製造や研究開発を行っている。

創 立　：1952年
資本金　：5,400万円
本 社　：京都市南区久世中久町676
生産拠点：久世工場・淀工場(京都府京都市)、新潟県
Web　：http://www.daico.co.jp/
Tel　：075-933-4191

取引の多い業界分野

非鉄金属　石油・素材　**電子材料**　自動車部品　ファインケミカル　繊維　ガラス・セラミックス　紙・パルプ　電力・発電　塗料・印刷　化粧品　**医療・医薬**　食品　畜産農業　**バイオ全般**　環境

業界の位置づけ

川上		川中		川下
基礎製品	>	誘導品	>	機能性材料 > 最終製品

お問い合わせ

京都市産業観光局産業イノベーション推進室
〒604-8571
京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地
電話　075-222-3324
FAX　075-222-3331